

第十六回 貴族院議事速記録第十五號

明治三十五年二月二十二日(土曜日)

午前十時八分開議

議事日程 第十五號 明治三十五年二月二十二日
午前十時開議

- 第一 衆議院議員選舉人名簿ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 議院送付
- 第三 沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 議院送付
- 第五 民法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第七 未成年者飲酒禁止法案(衆議院提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第九 國債證券買入銷却法廢止法律案(衆議院提出) 第一讀會(續)(特別委員報告)
- 第十 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會(續)(特別委員報告)
- 第十一 順德天皇御遺跡保存ニ關スル建議案(伯爵日野實秀君外二名發議) 會 議

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス
(仙石書記官朗讀)

去ル二十日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

明治三十四年度歲入歲出總豫算追加案(第一號)

明治三十五年度歲入歲出總豫算追加案(第一號)

明治三十五年度各特別會計歲入歲出總豫算追加案(特第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

同日議員公爵二條基弘君外三名ヨリ四十三名ノ贊成ヲ以テ蠶絲調查會設立ニ關スル建議ニ對スル質問書ヲ提出セラレタルニ依リ即日政府ニ轉送セリ

同日衆議院ヨリ政府提出北海道土功組合法案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日同院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

明治三十四年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

明治三十四年度歲入歲出總豫算追加案(第五號)

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

國稅徵收法中改正法律案

同日左ノ衆議院提出案ヲ受領セリ

官國幣社國庫支辨ニ關スル法律案

府縣鄉村社費ニ關スル法律案

國有土地森林原野下辰申請期間ニ關スル法律案

同日政府ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

內務省地方局長 吉原 三郎

內務省所管事務政府委員被仰付

法制局參事官法學博士 岡野 敬次郎

政府委員被仰付

各特別委員會ニ於テ當選シタル委員長副委員長ノ氏名左ノ如シ

營業稅法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵吉 井 幸藏君

副委員長 子爵立花 種恭君

權限法案特別委員會

委員長 子爵岡部 長職君

副委員長 三浦 安君

課稅標準額及稅額計算ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵日野 資秀君

副委員長 子爵長岡 護美君

行政裁決及行政裁判權限法案外二件特別委員會

委員長 三好 退藏君

副委員長 松岡 康毅君

○子爵谷干城君 鑛業法案ノ委員會ヲ開キタイデゴザイマスガ御許ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス、是ヨリ日程ニ移リマスルガ、唯今報告ニナリマシタ明治三十四年度歲入歲出總豫算追加案第二號並ニ第五號、是ハ政府ニ於テモ至急ヲ要スルト云フコトデアリマスカラ、日程ヲ變更シテ此際審查期限ヲ定ムルコトヲ御異議ガナケレバ決定致シタイト思ヒマス
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) フレデハ此議事ニ掛リマス

○子爵曾我祐準君 唯今御宣告ニナリマシタ豫算ニ係ル議案ハ五日間即チ來ル二十六日水曜日マデニ調査期限ヲ致シタウゴザイマス、ドウカ諸君ノ御贊成ヲ願ヒマス

〔贊成「ト呼フ者多シ」〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 曾我子爵ノ動議ニ御異議ガナケレバ共通ニ致シマス

〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 衆議院議員選舉人名簿ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔仙石書記官朗讀〕

衆議院議員選舉人名簿ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十五年二月十八日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨君

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

明治三十五年ニ於テハ明治二十二年法律第三號衆議院議員選舉法第十八條ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スルヲ要セス

明治三十四年四月一日調製シタル衆議院議員選舉人名簿ハ次ノ總選舉迄之ヲ据置クヘシ

〔政府委員吉原三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(吉原三郎君) 本案ヲ提出致シマシタル理由ヲ一應説明致シマス、現行法ニ依リマシテ調製致シマシタル選舉人名簿ハ本年ノ六月十五日マデ效力ヲ有スルノデアリマスルガ、現在ノ衆議院議員ノ任期ト云フモノハ即チ本年ノ八月九日ヲ以テ終リマスルノデ、ソレ故ニ正當ノ順序デ參リマシタナラバ則チ本年ノ四月一日ヲ期シテ新ニ人名簿ヲ調製スルト云フ手續ニナリマスルノデアリマスルガ、丁度六月十五日ニ其名簿ハ確定ヲ致シマスコトニナリマスルト則チ其名簿ニ依テ選舉ヲ行ヒマスルコト即チ其名簿ノ效力ト云フモノハ僅ニ六月十五日ヨリシテ次ノ選舉……次ノ選舉ハ未ダ發表ニナリマセヌガ免ニ角十數日間ノ效力ヲ有スルニ過ギナイノデアリマスニ依ッテ、左様

致シマスルト非常ナル手續ト費用トヲ要シマスルカラ寧ロ現在ノ名簿ヲ以テ即チ次ノ選舉ニ於ケルマデノ間效力ヲ持タシメル、斯ウ云フヤウナコトニ致シタイト云フ理由ヲ以テ本案ヲ提出致シマシタ所以デゴザイマス、宜シク御審議アラントコトヲ希望シマス

○三浦安君 權限裁判法案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス、別段御發議ガナケレバ委員ノ選定ニ移リマス、是ハ議長指名デ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔仙石書記官朗讀〕

沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十五年二月十八日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨君

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

沖繩縣ノ區長、間切長若ハ島長及東京府管内伊豆七島中八丈島、大島及利島ノ名主若ハ一式引受人、三宅島、新島、神津島及御藏島ノ地役人ハ國稅ノ徵集ニ關シ國稅徵收法中滯納處分ノ例ニ依ルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ物品納ノ國稅ニ關スルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ現金ニ換算シテ其ノ息納額ヲ定ム

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 沖繩縣及東京府下伊豆七島ニ於キマシテハ總テ舊慣ニ依ルト云フ法律ガゴザイマスノデ、租稅ノ徵收ノコトモ矢張專ラ舊慣ニ依ッテ居リマス所ガ、沖繩縣ノ滯納ニ關シマスル舊慣ハナカク慘酷ナモノデゴザイマスカラ、舊慣ハアリマスケレドモ事實ニ於テ行フコトハ出來ヌト云フヤウナコトデゴザイマスルシ、伊豆七島ニ於テハ舊慣ト云フモノモ明デゴザイマセヌト云フヤウナコトニナッテ居リマス所ニ、今日追々ト滯納者ガ出來テ參リマシタカラ此處分ト云フモノハ至ッテ困難ニナリマシタニ附イテハ茲ニ此法律ヲ出シマシテ内地一般ノ滯納ト似寄ッタヤウナ滯納處分ノ實行

ヲスル方ガ正當デアラウト云フノガ此法律案ノ主意デゴザイマスノデ、ドウ
カ御詮議ノ上可決アラントコトヲ希望致シマス

○谷森眞男君 質問致シマス、本案ニハ小笠原島ト云フモノガ這入ッテ居リ
マセヌガ、是ハ小笠原島ニハ矢張當分施行ニナラヌト云フ御考デスカ

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) チョット御尋ネガ分リ兼ネマシタガ……

○谷森眞男君 本案ニハ沖繩縣、ソレカラ東京府管内伊豆七島トアリマシテ、
小笠原島ハ這入ッテ居リマセヌ、ソレハ矢張國稅徵收法ニ依レバ小笠原島ハ
當分施行セザルノデアリマスガ矢張小笠原島ダケハ施行ナラヌノデアリマス
カ

○政府委員(若槻禮次郎君) 小笠原島ニ於キマシテハ舊慣ニ依ッテ取ル租稅
ト云フモノハゴザイマセヌ、今日國稅ノ行ハレテ居リマスモノハ唯營業稅ト
所得稅ダケデゴザイマスガ、是モ事實ニ於テハ殆ドナイ位デゴザイマス、今
日此砂糖消費稅ト云フモノヲ行ヒマスケレドモ是ハ滯納處分デ取リマス場合
ハ極メテ少ウゴザイマスノデ、詰リ適用スベキ場合ガマダ小笠原島ニハ生ジ
テ居ナイト云フノデ、此處カラ除イデゴザイマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 此委員モ議長指名デ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公曾近衛篤磨君) 民法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

〔仙石書記官朗讀〕

民法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十五年二月十五日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公曾近衛篤磨殿

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

民法中左ノ通改正ス

第七百四十三條ニ左ノ二項ヲ加フ

家族カ分家ヲ爲ス場合ニ於テハ戸主ノ同意ヲ得テ自己ノ直系卑屬ヲ分家
ノ家族ト爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ直系卑屬カ滿十五年以上ナルトキハ其同意ヲ得ルコト

ヲ要ス

附則

本法施行前ニ分家ヲ爲シタル者ノ本家ニ在ル直系卑屬カ意思能力ヲ有セサ
ルトキハ法定代理人ノニ代ハリ民法第七百三十七條第一項ノ規定ニ依リテ
分家ノ家族ト爲ル手續ヲ爲スコトヲ得

本法施行前ニ分家ヲ爲シタル者ノ直系卑屬ニシテ民法第七百三十七條ノ規
定ニ依リ分家ノ家族ト爲リタル者ニ付テハ同法第九百七十二條ノ規定ヲ適
用セス但第三者カ既ニ取得シタル權利ヲ害スルコトヲ得ス

○議長(公曾近衛篤磨君) 此委員ノ選定モ同様デ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公曾近衛篤磨君) 未成年者飲酒禁止法案、衆議院提出、第一讀會

〔仙石書記官朗讀〕

未成年者飲酒禁止法案

右本院提出案及送付候也

明治三十五年二月十五日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公曾近衛篤磨殿

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

未成年者飲酒禁止法

第一條 未成年者タルヲ知リテ酒類ヲ飲用セシメ若ハ飲用ノ爲ナルコトヲ
知リ酒類ヲ販賣スルコトヲ得ス但シ吉凶禮式ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
第二條 前條ニ違反シタル者ハ二圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○富井政章君 本員ハ此法律案ニ對シテ政府ノ意見ヲ伺ヒタイ、當該政府委
員ハ出席シテ居ラレマスカ

○議長(公曾近衛篤磨君) 出席シテ居リマセヌ

○富井政章君 議事ノ進行ヲ妨ゲナイタメニ政府委員ノ出席ナキニ拘ラズ私
ノ質問ヲ……

○議長(公曾近衛篤磨君) 唯今政府委員ノ方ヘ通知ヲ致シマシタ……政府委
員ノ出席マデハ後ト回シニ致シマシテ次ノ議案ヲ議シテハ如何デゴザイマ

セウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公曾近衛篤磨君) 國債證券買入銷却法廢止法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長ノ報告

(左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

國債證券買入銷却法廢止法律案

右否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年二月十四日

右特別委員長

伯爵吉井 幸藏

貴族院議長公曾近衛篤磨殿

〔伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル〕

○伯爵吉井幸藏君 此法案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、此國債證券買入銷却法廢止法律案ハ衆議院ノ提出デアリマシテ、其理由ハ十五議會ニ於キマシテ衆議院ニ於テ公債抽籤償還實施ノ建議ヲ出シタケレドモ政府ハ今ニ於テ矢張買入銷却ノ方針ヲ改メナイ、然ルニ公債ノ信用ヲ恢復シ經濟界ニ資セントスルニハ必ズ公債抽籤償還ノ實施ヲ急務トスル、此目的ヲ達スルニハ國債證券買入銷却法ヲ全廢セヌケレバ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ意見ヲ衆議院ハ通過ヲ致シタノデアリマス、然ルニ本院ノ特別委員會ニ於キマシテハ此法律ハ國債整理ノタメ及金融界逼迫ノ場合ニハ其金融ノ逼迫ノ所ヲ緩メルガタメニ少イ金額ヲ以テ救フコトガ出來ルト云フ意見デゴザイマシテ、全會一致ヲ以テ是ハ否決スベキモノト決議致シマシタニ依ッテ、ドウカ本院ニ於キマシテモ特別委員會ノ決議通過否決アランコトヲ希望致シマス

○平山成信君 此案ハ甚ダ簡單ナ案デゴザイマスカラ讀會省略ノ動議ヲ提出致シマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(公曾近衛篤磨君) 平山サンニ御注意申シマスガ、是ハ否決ト云フ報告デアリマスカラ……

○平山成信君 サウデスカ

○議長(公曾近衛篤磨君) 特別委員會ノ報告ハ否決スベシト云フコトデアリマスカラ 原案ニ附イテ決ヲ採リマス、委員會ノ報告ニ御同意ノ方ハ起立ナサ

ヲヌヤウニ願ヒマス、本案原案ニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公曾近衛篤磨君) 起立者ハアリマセヌカラ否決ニナリマシタ、關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(左ノ報告書及修正案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十五年二月二十日

右特別委員長

子爵曾我 祐準

貴族院議長公曾近衛篤磨殿

關稅定率法附屬輸入稅表中左ノ通改正ス

第一種第二類「三七生卵一、〇」ヲ「三七生卵二、五」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○三好退藏君 行政裁判法ニ附イテノ特別委員會ヲ開キマス、宜シウゴザイマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、本案ハ唯今茲ニ差出シ置キマシタ通修正可決ト云フ委員會ノ決議デアリマス、是ハ一致ヲ以テ左様ニナリマシタノデアリマス、併シ此修正ト申シマスモノハ實體ノ修正デハナクテ、唯本法施行期日ノコトニ附イテノ修正デアリマスニ依ッテ生卵輸入稅ノ一、〇トアルノヲ二、五即チ二割五分ニ改ムルト云フ衆議院ノ回付案ニ對シテハ全ク同意シタ譯デアリマス、本案ハ政府モ同意ヲ致シテ居リマス、本案ノ主旨ト申シマスモノハ蓋シ稅源ヲ求ムルタメニスルノデハナクテ玉子ノ輸入ヲ防ギ、內國產ノ鶏卵ヲ保護發達セシムル手段ニ出タモノラシクアリマス、政府ノ同意サレタ主意モ全ク此稅源ヲ求ムルト云フ主意デハナクテ內國產ノ鶏卵ノ保護發達ヲ期スル所ノ主意ダト申スコトデアリマス、近來清國ヨリ鶏卵ヲ輸入シテ來マス所ノ有様ノ

大略ヲ調査ノ結果トシテ申上ゲマスガ、其高ト云フモノハ非常ナモノデアリマス、二十八年頃マデハ金ニシマシテ九萬五千圓位十萬圓ヲ出デナカッタサウデアリマスガ、三十三年度ニハ俄ニ増シテ百二十三萬圓ト云フ金高ニナッタサウデアリマス、三十四年度ハ十一月マデノ調査カアリマセヌ、十一月マデニシテ既ニ百十五萬圓餘ニ及ンダサウデアリマス、是モ一年ヲ通シテ勘定シマシタナラバ百二十三萬圓ニモナルコトデアリマセウ、然ルニ内國ノ養鵝産卵業ハ如何、農商務省ノ取調ニ依リマス、十數年前マデハ斯業ノ改良發達ノ兆シガ大分ニアッタノデアル、然ルニ近來ニ至ッテハ益退歩沈淪シテ大養鵝家ト云フ如キモノハ殆ド地ヲ掃フト云フ有様ニナッタ、是レ全ク清國輸入鶏卵ニ壓倒サレタニ相違ナイ、日本全國ノ鶏卵ノ產出高ト云フモノハ一箇年ドレ位アルデアラウカト云フコトハ其筋デ調査サレタサウデアリマスガ、是ハ甚ダ不確實ナ調査デアッテ、餘程又ムヅカシイ調査デアリマセウ、數ノ多イモノデアリマスカラ……確實ナルヤ否ヤハ政府自身デモ確證ハシナイガ、併シ大概調査ノ結果ニ依ルト六億二千萬位ハ日本産スル鹽梅、然ルニ又輸入ノ數ハ幾ラカト申シマス、三十三年度ニ於キマシテハ九千五百萬、殆ド一億ニ近イモノデアリマス、三十四年度ニ於テハ九千九百萬箇ト云フ勘定ニナルサウデアリマス、殆ド是モ一億、然ラバ全國ニ産スルノハ僅ニ六億カツコラデアッテ輸入スルノガ一億ニモ近イ、斯様ナ譯デアリマスカラ七ツノ玉子ノ中ノ一ツハ外國品デアルト云フ譯ニナル勘定デアリマス、斯ノ如ク外國即チ清國ヨリ澤山這入ッテ來ル譯ハ何ゾト申シマスレバ即チ價格ノコトデアリマス、價格ノ安イノニ原因スルニ相違ナイ、支那ニ於テハ玉子ト云フモノハ非常ニ廉價ナモノダサウデアリマス、是モ其筋ノ調査ニ依リマスレバ一千箇ニ附イテ原價ハ十圓カ十一圓位ナモノダサウデアリマス、デ清國ヨリ出シマスニハ輸出稅ガアリマス、荷造ノ賃ガアリマス、運賃ガアリマス、ソレカラ又我國ニ參リマスレバ現行法ニ於テモ一割ノ稅ト云フモノガアリマス、ソレ等ヲ加ヘマシテモ十四圓位ニシカナラヌサウデアリマス、日本デ發賣スル時分ニ十四圓位ノモノダサウデアリマス、千箇ニ附イテ……我國ノ玉子ノ價、是モ亦全國ヲ平均シテ見マス、三十三年頃ノ調査ニ依リマス、平均ニ於テ千箇ニ附キ二十圓七十錢位ノ所デアルサウデアリマス、尤モ場所ニ依ッテハ二十四圓以上ニモ上ボリマスサウデアリマスガ、是ハ全國ノ田舎マデモ平均シテ即チ六億幾ラト云フ數ノ上ニ附イテ平均シタモノデ二十圓七十錢ト云フ譯デアリマス、今申ス通支那カラ入ッテ來マスノハ、手數料カラ、荷造料カラ、

輸入輸出、其稅モ加ヘマシテモマダ遙ニ安イモノデアリマス、今茲ニ衆議院ノ案、即チ我々委員ガ贊成シタ所ノ二割五分ノ案ヲ實行サレルトシテ見マシテモ、清國品ハマダ十六圓位ニ日本デ賣レルト云フ勘定ニナリマス、故ニ未ダ内國產ト均シキ價マデニハ參ラヌノデアリマス、ドウシテモ五割以上ノ稅ヲ課セネバ日本ノ價ト同ジキ價ニハナラヌ勘定デアリマス、先ヅ五割モ掛ケマスレバ十九圓八十錢バカリノ勘定ニナリマスニ依ッテ先ヅ二十圓ニ近キモノデアリマス、ドウシテモ五割以上六割モ掛ケネバ今ノ日本ニ於ケル平均ノ價格ト均シキモノニハナラヌサウデアリマス、右ニ依リマシテ政府ノ考ハドウデアラウカト云フコトヲ問ヒマシタ、以前ニモ申ス通政府ノ考、即チ此案ニ贊成シタ所以ト云フモノハ内國ノ玉子ヲ保護スルコト云フノガ主意デアリマスカラ、二割五分位ノ稅ヲ掛ケテ保護シ能フヤ否ヤト云フ疑問ガアリマスニ依ッテ、政府ハ之ニ對シテ如何ニ考フルヤト云フコトヲ問ヒマシタ、政府モ固ヨリ二割五分位掛ケテ保護ノ目的ヲ達シ得ナイト云フコトハ知ッテ居ル、サリナガラ餘リ俄ニ稅額ヲ増シタナラバ價格激變ノタメニ需用者ニ意外ノ困難ヲ蒙ラスルヤモ計リ難イと思フ、先ヅ此案ハ此位ナ所ニシテ即チ二割五分位ナ所ニシテ二三年モ試ミテ見タ方ガ宜カラウト政府デハ思フノデアル、斯ウ云フ答デアリマシタ、ソレデ委員會ニ於キマシテモ申スマデモナク本案ハ衆議院提出ノ案デアッテ、衆議院デ可決ヲシテ回付ニナッタ案デアリマスニ依ッテ、先ヅ原案ニ贊成ヲシテ置カウト斯ウ云フコトデ委員會ハ即チ原案通ニ一同、一人ノ不同意者モナク原案通ニ可決シタコトデアリマス、又政府ニ於キマシテハ養鵝ヲ保護スル、然ラバソレハドウシテ保護スルノデアル、日本ニ發達サスル方法デモ執ルノデアルカト云フコトヲ政府ニ向ッテ我々ガ尋ネマシタラバ、種々考案モアッテ外國ヨリ最モ良イ所ノ種鵝ヲ取寄セテ、サウシテ全國ニ頒布シテ獎勵スル經畫モ段々攷究シテ居ル、ソレニ附イテハ多少ノ費用モ要スルガ、ソレハマア實ニ些カナモノデアルデ、ソレハ時宜ニ依ッテ此議會ニデモ提出スルカモ知レヌ、ソレハ年ニ二萬圓カソコラノ金ガアレバ宜イ、ソレヲ二三年モ繼續シテヤッタラバ鵝ノ種ヲ全國ニ普クスルコトガ出來ルダラウ、是ハ確トシタコトデモアリマセヌガ、委員會ニ於テ政府ノ意思ヲ發表サレマシタ、其種類ハ澤山アルサウデアリマス、氣候ノ違モアリマスカラ日本ト申シマシテモ北海道カラ南方マデハ餘程アリマスガ、十五種バカリヲ選ンダナラバ宜カラウト云フ考ダサウデアリマス、序ニ是ハ申上ゲテ置キマス、ソレカラ委員會ニハ政府ヨリ參考書トシテ提出サレタ書類ガアリマスガ、

其中ニ米國ノ例ガ見エテ居リマスカラモ序ニ一言申上ゲテ置キマスガ、亞米利加デハ千八百九十年ヨリ此輸出玉子ニ課稅スルコトニナツタサウデ、其當時ハ年々五六十萬圓ノ輸入超過デアッタ、矢張出ル玉子モアレバ入ル玉子モアルガ、差引スレバ此稅ヲ掛ケ始メタ當時ハマダ輸入超過デアッタ、第七年目即チ千八百九十六年ヨリハ輸出超過ト爲ツテ、第九年目即チ千八百九十八年、此稅ヲ始メテカラ第九年目ニハ二百四十餘萬圓ノ輸出超過ヲ見ルマデニ進シタサウデアリマス、而シテ其稅額ハドレ位デアアルカト云ヘバ一だ一すニ附イテ十錢バカリノ課稅デアッタサウデアリマス、是ハ參考ノタメニ政府ヨリ委員會ニ提出サレマシタ書類ノ中ニ見エテ居リマスカラ、御參考ニ茲ニ申述ベマス、本案ノ修正、即チ此附則ノ一項ヲ加ヘマシタ譯ハ原案ニ附イテハ施行期日ト云フモノガアリマセヌ、更ニ一ノ法律ヲ作ツテ出セバ宜シウゴザイマシガ、此儘デハ施行期限ガナイ、且ツ是ハ關稅ニ係ルモノデアリマスニ依ツテ、關稅定率法ノ第七條ニ「附屬稅表中改正ヲ要スルトキハ施行期日ヨリ少ナクモ六箇月前ニ之ヲ公布ス」斯ウ云フコトニナツテ居リマスニ依ツテ、六箇月前ニ公布ノ必要ガアルデアラウ、之ヲ實行スルニハ六箇月前ニ公布ノ必要ガアル、此原案ノ儘デハ前ニ申シマシタ通公布ノ方法ガ附イテ居リマセヌニ依ツテ實行ガ出來ヌ譯ニナル、ソレ故ニ此附則ノ一項ヲ附ケマシタ、是ハ衆議院ニ於テモ無論異議ハナカラウト委員共ハ考ヘマス、大要右様ノ次第デアリマスカラ、之ニ依ツテドウゾ諸君ノ御贊成アラントヲ希望致シマス

○男爵尾崎三良君　チヨット委員長ニ質問致シタウゴザイマス、唯今御述ニナツタ中ニ此內國產ノ玉子ハ今日六億ナニガシト云フ調ベデアルト云フ御話デアリマシタガ、是ハ尤モ確定ナモノデハナイガ、先ヅ大概ソナモノデアルト云フ御説デアリマシタガ、然ルニ此內國產ノ玉子ガ非常ニ衰退シタト云フ御報告デアリマシタガ、シテ見マスルト今日ハ六億デアラウガ、但シ十年前以前ハドレ位デアッタト云フコトガ分ラヌ以上ハ衰退シタカ盛ニナツタカ分ラヌデアリマスガ、其點ノ產出高ノ何カ調ベタモノガアリマスカ、ソレヲ若シ御調ニナツタナラバ一應承リタイ

○子爵曾我祐準君　尾崎君ノ御質問ハ全ク御聞損ヒデアリマス、沈淪シマシタ衰退シマシタト申シマシタノハ大養鶏家ニ附イテ申シマシタ、全國ニ附イテハ衰退シタト云フコトハ一言モ申シテ居リマセヌ、又政府ヨリ提出サレマシタ書附ニモサウシカナイ、大養鶏家ガ名古屋等ニ在ッタノガ、ソレガ衰退シ

タ、マダ詳シウアリマスケレドモ、煩雜ヲ避ケマシテ地名杯ヲ除イテ其大體ヲ申シマシタ、ソコデ前ヨリ減ツタカドウカト云フコトニ附イテハ考ハアリマス、ソレハ世ノ進歩ト共二十年モ經テバ餘程發達シナケレバナルマイガ、然ルニ日本人モ玉子ヲ餘計ニ食フヤウニナツタカラ、ソレダケヲ日本デ作り出シ切レヌト云フモノハ發達ト伴ハナイ、元ノ數ハ分ラヌニ依ツテ衰退トハ言ハレヌカ知ラヌガ、世ノ發達ト伴ハヌト云フノハ事實デアラウ、然ルニ一方デハ外國カラ入ッテ來ルニ依ツテソレニ壓倒サレテ日本デ發達シナイ、是ハ間違ナイ事實ト委員一同モ多分認メマシタラウ、本員ハ確ニサウ認メルデアリマス

○男爵尾崎三良君　モウ一言質問致シタウゴザイマスガ、米國ハ輸出稅ヲ課シテ居ル、輸出稅ヲ課シテ居ッタニ依ツテ段々輸出ガ殖エタト云フコトデアリマスガ、果シテサウデゴザイマスカ

○子爵曾我祐準君　輸出稅ト申シマシタノハ私ノ全ク間違デアリマス、輸入稅ノ間違デアリマス、速記録モ併セテ訂正ヲ請ヒマス

○男爵尾崎三良君　ソレナラバ政府委員ニ質問致シタウゴザイマスガ、政府ニ於テハ此鶏卵ノ產出高ニ附イテハ凡ソ十年前ナリ五年前ナリト今日ト其產出高ヲ御調ニナツタコトガアリマスカ、若シアレバ一應伺ヒタウゴザイマス

（政府委員和田彦次郎君演壇ニ登ル）

○政府委員（和田彦次郎君）　唯今ノ御尋ハ内地產卵ノ數ヲ調ベタコトガアルカト云フ御尋デゴザイマスカ

○男爵尾崎三良君　左様デゴザイマス

○政府委員（和田彦次郎君）　前ニ委員長ヨリ御報告ニ相成リマシタ通ニ六億二千萬餘現今ノ所デ產出致シテ居ルト調ベハ致シテ居リマス

○男爵尾崎三良君　ソレハ分ッテ居マスガ、五年前十年前ハドレ程デアッタカト云フコトヲ何カ御調ニナツタモノガアリマスカ

○政府委員（和田彦次郎君）　明治二十一年ニ調査致シマシタトキノ員數ハ三億七千九百萬餘デゴザイマス、其二十一年ニ調査致シマシタトキノ員數ハ三億七千九百萬餘デゴザイマス

○男爵尾崎三良君　ソレデハ殖エテ居ルニ違ヒナイ

○久保田讓君　委員長カラ詳シイ報告ガアリマシタカラ、或ハ其中ニ在ッタカ知レマセヌガ、私ハ政府委員ニ少シ伺ヒタイ、支那ノ玉子ノ價ガ非常ニ安クッテ日本ノ玉子ガ非常ニ高イ、殆ド倍グラ井デアルト云フ、其非常ノ差ノア

ル原因ハドウ云フ所カラサウ云フ差ガアルノカ、ソレヲ伺ヒタウゴザイマス、ソレカラモウ一ツハ支那ノ玉子トソレカラ日本ノ玉子トノ品物ノ大小優劣ト云フコトハ區別ノナイモノデアルカ、ソレモ伺ヒタイ

○政府委員(和田彦次郎君) 唯今ノ御質問ニ答ヘマスデゴザイマスルガ、價ノ著シイ差ノゴザイマスルノハ種々ノ原因モアルデゴザイマセウケレドモ、其中ニ附キマシテ重モナル差ヲ生ズルト認メマスル點ヲ申上ゲマス、支那ノ鶏卵ノ模様ハ日本ノ如ク發達致シテ居リマセヌデ、多クハ野飼同様ニナッテ居リマスヤウニ調ベタ所デハ見エマス、ソレ故ニ別ニ食料ヲ與ヘルデモゴザイマセズ、或ハ峙ト稱ヘマスル鶏ノ寢泊リスル所ヲ拵ヘテ居ル模様モナイサウデゴザイマス、悉クトハ申サレマヒヌケレドモ多クノ部分ハ野飼同様デゴザイマシテ、産ミマシタ鶏卵ガ野ニ落チテ居リマスルノヲ拾フト云フ實況デゴザイマス、ソレ故ニ内地デ養鶏致シマスル經費、諸般ノ入費ノ掛リマスルモノヨリモ其價ガ從ッテ廉價ニ附クデアラウト云フコトヲ認メテ居リマス、ソレカラ鶏卵ノ優劣ノ點ハ支那玉子ト日本玉子ト比較致シマシテ必シモ支那玉子ノ方ガ惡イ、必シモ日本玉子ノ方ガ優等デアルト云フコトハ明言シ難ウゴザイマス、是ハ畢竟斯ノ如キ物ハ日數ヲ經タル物ト日數ヲ經ナイ物トニ依ッテ或ハ其性質ノ宜シキモノモ惡シクナリマスルシ、又比較的品質ガ劣ッテ居リマシテモ新シイ物ノ方ハ古イ物ノ方ヨリハ宜シイノデゴザイマスルカラ、其日數ノ經過ニ依リマシテ自然ニ優劣ヲ來スコトデアラウト考ヘマス、日本ノ中ニ於キマシテモ其鶏ノ如何ニ依ッテ同シ產落シマシタ玉子ノ中デモ種類ノ善イ鶏ノ玉子ハ宜シイ、又極テ種類ノ惡イ鶏ノ玉子ハドウシテモ惡イト云フ譯デゴザイマシテ、一概ニハ申サレマセヌケレドモ概シテ申シマスレバ内地ノ產卵ヨリハ支那玉子ノ方ガ日數ヲ經タル物ガ多イト云フコトハ勢ヒ免レヌコトデゴザイマス、故ニ其日數ノ點ヨリ古キハ惡シキニ傾クト云フコトガアル以上ハ支那玉子ハ即チ日本玉子ヨリ品ガ惡イ傾キヲ持ッテ居ルト認メマスノデゴザイマス

○久保田讓君 モウ一ツ唯今ノ御答ニ依リマス品ハ格別優劣ハナイト云フコトデゴザイマス、サウシテ代價ハ殆ド半分デアル、サウ云フコトデアレバ支那ノ養鶏ノ方法ヲ我國ニ移シテ、サウシテ容易ク養鶏ノ途ガ出來タラ宜カラウト思ヒマスガ、サウ云フコトハ我國ニ移スコトガ出來ナイト認メラレテ居ルノデアリマスガ、或ハ何カ其邊ニ附イテ多少御調ニナッタコトガアリマスカ伺ヒマス

○政府委員(和田彦次郎君) 養鶏ヲ致シマスル方法ニ附キマシテハ成ルベク經濟的ニナルヤウニ又成ルベク手數ヲ要セヌヤウニ致シマスルコトニ附キマシテハ將來大ニ攷究致サナケレバナラヌコト、考ヘマス、併シ唯今マデノ所デ支那ノアノ原野ニ牛馬デ申シマスレバ放牧同様ノコトニナッテ居リマシテ鶏ノ育ッテ居ル有様ヲ直チニ日本ニ持ッテ來テ適スルヤ否ヤト云フコトハ餘程能ク攷究シナケレバナラヌト思ヒマスガ、免ニ角經濟上彼ノ支那ノヤウニ成ルベク經費ヲ要セヌヤウナ養鶏ノ仕方ハ將來十分攷究致シマスル積デゴザイマス

○久保田讓君 ソレニ附イテハ何カ試驗デモシテ見タコトガゴザイマセウカ
○政府委員(和田彦次郎君) 今日マデノ所ニ於キマシテハ支那風ノ方法ヲ持ッテ來テハドウデアアルカト云フコトハ試驗ヲ致シテ居リマセヌデゴザイマスガ、將來ニ於キマシテハ第一鶏ノ種類ニ依ッテ優劣ガゴザイマスルカラ同シ一羽ニシテ二百モ玉子ヲ産ムモノモゴザイマスルガ、現在ノ所デハ平均六十以內シカ産マヌ有様デゴザイマスルカラ、ソレハ飼方モゴザイマセウガ種類モ改良致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○男爵尾崎三良君 私ハ此案ニ附イテ意見ガゴザイマスガ唯今述ベテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

(男爵尾崎三良君演壇ニ登ル)

○男爵尾崎三良君 此案ハ餘リ事柄ガ大キクナイ故ニ諸君ノ御注意ヲ促スコトガ餘程薄カッタカト思ヒマス、ソレ故ニ今日はハ御參會ノ諸君ニ取ッテモ十分ニ攷究ガナイデアラウト思ヒマスガ、サリナガラ是ハ決シテ輕々ニ看過スベカラザルモノト私ハ信ジマスカラ、一應私ノ意見ヲ申述ベテ諸君ノ御贊同ヲ仰ギタイト思フノデゴザイマス、デ本案ニ附キマシテハ私ハ反對デアリマス、其反對ヲスル理由ハ二ツノ理由ガゴザイマスガ、其一ツハ第一、此鶏卵ト云フモノハ今日ノ所ニ於テハ殆ド必需品デアル、日用ノ必需品デアル、是ハモウ殆ド米麥同様ニ上ヨリ下マデ一日モ殆ド缺クベカラザル物ニナッテ居ル、其必需品ニ稅ヲ掛ケルト云フノハ宜シクナイト云フノガ一ツノ精神、今一ツ反對ノ理由ハ一體増稅案杯ハ衆議院カラ提出スベキモノデナイ、ソレハ憲法ニ於テハ何トモ規定ガナイカラドンナモノヲ出シテモ宜シイト云フ說カ知リマセヌガ、イツゾヤ此議場デ財政上ノコトハ成ルベク衆議院ノ議ヲ重ンズルガ宜シイト云フ說ガアッタ、ナゼサウ云フ說ガアルカト云ヘバ各國此憲

法政治ヲ行フ所ノ國デハサウナッテ居ルト云フ御説デアリマシタガ、其模範ヲ取ル所ノ憲法國ノ議會ハドウデアアルカト云フト決シテ衆議院或ハ貴族院ニシテモ増稅案ヲ提出スルコトハナイ、此増稅ト云フコトハ當局者ガ本年ノ豫算上金ガ足ラヌトカ將來金ガ必要デアアルカハ是ダケ要求スルト云フノ當局者カラ要求シテ始テ其利害等ヲ研究スベキモノデアアル、ソレヲバ衆議院自ラ増稅案ヲ提出スルト云フコトハ私ハ甚ダ宜シクナイコト、考ヘマス、ソレ故ニ憲法ノ舊ク行レテ居ル國デハ決シテサウ云フコトハサセナイ、尤モ亞米利加デハ隨分アリマスガ、亞米利加ノ議院ト云フモノハ中央ノ議院ノミナラズ各州ノ議院ニ至ッテハ隨分弊害ガアッテ其弊ニ勝ヘナイ有様デアアル、詰リ増稅ヲシテ何カ仕事ヲシテハ銘々私利ヲ計ルト云フコトハ誰モ視テ居ルコトデアリマス、サリナガラ此舊イ憲法國デハサウ云フ事ハ決シテサセナイノデアアルカラ、ドウゾ我日本ハ新シク憲法ガ行レタ所デアリマスルカラ成ルベク善イ習慣ヲ付ケタイト云フコトヲ私ハ考ヘテ居リマス、デ今日此鵝卵ニ稅ヲカケルト云フト譯モナク此多數ノ人間ニ稅ヲ掛ケルト云フコトニナルノデアアリマス、別シテ此日本杯ニハ鵝卵ト云フモノハ最モ必要ナモノデアアル、ソレハナゼカナラバ此滋養品トシテハ牛乳竝ニ鵝卵デアリマスガ、所ガ此日本人ノ胃ニハドウモ牛乳ノ適セヌコトガ多イ、牛乳ノ適セヌ人ガ多イ、現在私共ハ牛乳ハドウモ胃ニ適シナイ、ソレ故鵝卵ヲ始終用ヒテ居リマスガ、固ヨリ此議場ニ御列シノ御方ハ鵝卵ノ三錢ノガ四錢五厘ニナッタカラトテ左ノミ御困リハアリマスマイ、ガ私共ハ困方デアアル、ソレハ取ッテ置キマシテ此鵝卵ノタメニ……近來鵝卵ヲ食フコトガ發達シタタメニ兵隊竝ニ勞力社會ハ是レカラ滋養ヲ取ルコトハ非常ナモノデアアル、デ是カラハ成ルベク安ク供給シテ此下等人民ニ成ルベク滋養ヲ十分ニ與ヘテ強壯ナル兵隊ヲ作りタイト思フ、是ニ稅ヲ掛テ今日デサヘ鵝卵ノ價ハ日本ハ比較的ニ高イ、ソレハ唯今モ段々政府委員カラノ説明モアリ諸君モ御認メニナッテ居ル通支那ト云フ國ハ鵝卵ハ非常ニ安イ、朝鮮杯ニ至リマシテモ鵝卵ハ非常ニ安イ、日本ハ高イ何故ニ高イカ知ラヌガ飼方ガ下手ナデアラウト思フ、成ルベクハ外國ノ安イノヲ見テ產出ノ方法ヲ改良シテ安クシテ成ルベク國民ニ十分ノ滋養ヲ與ヘタイト思フ、今日鵝卵ガ大抵一ツ三錢致シマスガ此稅額ガ掛レバ三錢以上五錢ニハナル、其結果ハドウデアアルカト云フト數十萬ノ人民ハ高イモノヲ出シテ買ハナケレバナラヌ、ソレガタメニ利益ヲ得ル者ハ愛知縣トカ三重縣トカノ養鵝家が非常ノ利益ヲスル、斯ウ云フコトハ誠ニ能ク考ヘヌケレバナラヌモノト思ヒマス

ガ、隨分昔ノ經濟方法ガ十分ニ發達シナイトキハ斯ウ云フヤウナコトガ餘所ノ國ニモ隨分アリマシタ、即チ英國杯デハ五六十年前ニハ穀物稅ガアッテ外國カラ輸入シテ來ル穀物ニ稅ヲカケテソレガタメニ穀物ヲ產出スル人民ハ自分ノ產出スル米、麥デハアリマセヌ麥デアリマスガ麥ガ高ク賣レルニ依ッテ此產出者ハ得ヲ得タガ麵包ヲ食フ一般ノ人民ハ非常ナ困難デアッタ、ソレガタメニ此五六十年前ハ諸君モ御承知ノ通あんちこんろういんぐト云フモノガ起ッテ國民ガ非常ニ激昂シテ反對シテ廢シタノデアリマス、英國ノ如キ國デナゼソナコトガ行レタカト云ヘバ則チ其頃……今デモサウデアリマスガ土地所有者ハ多ク貴族ニ歸シテ居ッタ、衆議院デモ貴族院デモ多ク貴族ノ勢力ガ盛ニアッタタメニ容易ニ穀物稅ヲ廢スルコトガ出來ナカッタガ、漸ク國民ノ勢力デ之ヲ廢シテ安イ麵包ヲ食フヤウニナッタデアリマス、鵝卵杯モ日本デハ殆ド米麥ニ次イデ必需品ト考ヘマスルデ、私共ハ今日ノ一割稅ヲモ廢シタイ位デアアル、サリナガラ既ニソレダケ掛ケテアルノヲ今廢スルト云フ必要モナカラウト思ヒマスガ、今是ニ稅ヲ掛ケルノモ甚ダ我國家永遠ノタメ宜シクナイ、又或ハ其安イ鵝卵ガ輸入スルニ依ッテ我が產卵ノ方ガ盛ニナラナイト云フ御説ガアリマシタガ、今當局者ノ調ニ依リマシテモ明治二十一年ニハ三億幾ラガ今日ハ六億ニナッテ居ル、倍以上ニナッテ居ル、私共ノ手許デ調ベタモノデハ今日ハ九億ニナッテ居ル、ソコニ三億違ヒマスガ、ドチラガ本當カ實際ハ私ハ知リマセヌガ今日壓倒サレテ衰退スルト云フコトハナイノデアアル、左スレバ何モ之ヲ殊更ニ稅ヲ増シテ保護セニヤナラヌト云フ必要モナイ、全體此保護稅ト云フコトハ、ソレハ絶對的ニマルデ惡イトハ思ハヌケレドモ甚ダ宜シクナイ、成ルベク斯ウ云フモノハ自由ニシテ我が養鵝者モ其方法ヲ進歩サセテ外國ノ鵝卵ト競争シ得ルヤウニスルガ宜シイト思フ、保護稅ヲ加ヘテルトイツマデモ不當ナ利益ヲ得ルカラ十分ニ發達ヲセナイノデス、サウシテ其ノ被フル所ノ損害ハ誰ガ被フルカト云ヘバ日本四千萬ノ人民デアアル、利益ヲ受クル者ハ何デアアルカト云ヘバ僅ニ二三縣ノ養鵝者バカリデアアル、ソレカラ此鵝卵ト云フモノハ滋養品トシテ食料ニ用フルノミナラズ隨分或方ニ於テハ鵝卵ガ安イタメニ之ヲ以テ糊ヲ製シテ種々製造品ヲ作ルト云フコトガアリマスガ、既ニ京都アタリデモ友禪染杯ハ玉子糊ヲ以テ染立ツル、ソレバカリニ費ス鵝卵ノ高ハ一年ニ二十萬近クモアルト云フコトデアリマスガ、若シ是高クナルト原料ガ高クナッテ、ソレガタメニ此產物ヲ衰退セシムルノ恐ガアル、其他色々ナ關係ガアッテ其利益ヲ受ケル所ノ者ハ僅ナ人間デアアル、唯今米國ハ

輸入税ガアツタメニドウト云フ御話ガアリマシタガ、諸君モ御承知ノ通米國ト云フ所ハ世界ニ名高キ保護貿易國デアツテ何デモカデモ不當ニ重イ稅ヲ掛テ居ル、何ゾ鶏卵ノミデナイ、其類ニ倣フト云フノハ甚ダ面白クナイト思ヒマスルデ、諸君モ十分御攷究ニナツタデアリマセウガ、又此増稅案ノコトニ附イテハ隨分種々風説モ聞込ミマシタガ、兎角議院カラ増稅案ヲ持出スト云フヤウナコトニ附イテハドウモ面白クナイ例ガ隨分澤山アルノデアリマスガ、此コトニ附イテハ定メテサウ云フコトモ無イデアリマセウガ、サウ云フコトノ端緒ニナラヌヤウニ成ルベク貴族院ハ之ヲ防グノ途ガアレバ防グヤウニシタイト思フ、デモウ長クハ申シマセヌガ、詰リ此稅ハ國庫ノ歲入ハ僅ノコトデアツテ、ソレガタメニ四千萬ノ人民ハ皆高イ物ヲ買ハネバナラヌ、其結果タルヤ勞力者兵隊ノ滋養品ガ減ズルヤウニナル、其利益ハ僅ノ數人ノ人間ガ利益ヲ得ルヤウニナリマスカラ、斯ウ云フモノハ成ルタケ成立タヌガ宜シイ、ソレカラ又一ツハ衆議院ガ増稅案ヲ自ラ提出シタ先例ハ開カヌヤウニ致シタイト云フ、此ニ點ヲ以テ本院デハ一讀會ヲ開カヌ議決ヲ願ヒタイト思ヒマス、ドウカ諸君ニ於キマシテモ十分ニ御勘考アツテ私ノ說ニ御贊同アラシコトヲ希望シマス

○男爵加藤弘之君 尾崎君ノ說ニ贊成致シマス

(政府委員和田彦次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(和田彦次郎君) 唯今御說ガゴザイマシテゴザイマスガ、政府委員ト致シマシテ御議論ヲ駁シマスル杯ト云フコトハ決シテ致シマセヌ積デゴザイマスガ、政府ガ之ニ贊成致シテ居リマスル所ノ意思ヲ明ニスルコトハ亦必要デアラウト思ヒマスノデ一言申シテ置キマス、此改正ヲシタ以上ハ今日三錢スル玉子ガ四五錢ニナル、シテ見レバ多數ノ者ガ此必要缺クベカラザル所ノ需用品ヲ高ク買ハネバナラヌ、四千萬ノ人民ガ甚ダ不幸ヲ蒙ルト云フ如キ御議論ノヤウニ承リマシタガ、果シテ左様デアリマスレバ政府モ此案ニハ贊成致シマセヌ、併ナガラ政府ノ見マスル所デハ決シテ左様ニハ考ヘヌノデ今支那ノ原價ト運賃ト且ツ荷造費ト支那ノ稅ト日本ノ稅トヲ掛ケマシタ所デ千箇ニ附イテ十四圓位ニ支那ノ分ハ附ク、日本ノ分ハ幾ラ節シマシテモ千箇ニ附イテ二十圓掛ル、其差ガ殆ド六圓アルノデ、之ニ對シテ二割五分ノ稅ヲ課シマシタ所デ決シテ日本ノ鈞合ガ附カヌ氣遣モゴザイマセズ、立派ニ今日ノ價ニ於テカラニ將來ノ賣買モ出來得ルト考ヘマスル、若シ内地ノヲ高ク致シマシタナラバ支那ノタメニ平均ヲ得マス、支那ノヲ高クシマスレバ内地

ノタメニ平均ヲ得マスカラ今ノ三錢ノモノガ四五錢ニナルトハ政府ハ信ジマセヌ、而シテ四千萬ノ人民ガ苦シムト云フヤウニ御說ガゴザイマシタケレドモ、政府ノ見マスル所デハ日本ノ多數ノ農民……貧民ノ多クハ何レニアルカト申シマスレバ農家ニ多クアルト云フコトハ統計上明ナ話デ、其多數ノ農家ノ副業トシテ居リマスル所ノ養鶏業ヲ保護シ國產ノ發達ヲ期スルタメニ此案ヲ政府ガ贊成スルノデアリマシテ、多數ノ者ノ利益ヲ保護スルタメニ政府ハ此案ヲ贊成スルノデアリマス、多數ヲ苦ムルタメニスルノデハ決シテゴザイマセヌ、ソレデ二三ノ養鶏家ヲ益スルガ如ク御說ガゴザイマシタガ、政府ノ見テ居ルノハ今日ノ養鶏專門家ノ利益ヲ圖ルコトヲ決シテ眼中ニ置イテゴザイマセヌ、多數農民ノ副業トシテ居リマス養鶏ヲ發達セシメテ其利益ヲ保護スルト云フコトハ今日ノ所ニ於キマシテ最モ必要デアリ、又國產ヲ増殖シマシテ輸入ヲ防グ點ニ於テモ勉メナケレバナラヌ故ニ此案ヲ贊成致シマシタノデ、一應政府ノ意思ヲ明ニシテ置キマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 最早別段ニ討論モナイト思ヒマスカラ採決致シマス、反對論モアリマシタカラ起立ニ問ヒマス、木案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 多數ト認メマス

○子爵曾我祐準君 議事日程ヲ追加シテ直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ……

(「贊成」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ二讀會ニ移リマス、御異議ガナクバ原案ニ決シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○子爵曾我祐準君 直ニ三讀會ヲ開カレンコトヲ……

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 三讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ガナクバ直ニ三讀會ニ移リマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○子爵曾我祐準君 豫算委員會ヲ開キタウゴザイマスガ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 豫算委員會ハ少シ定數ニ疑ガアリマスカラ……未成年者飲酒禁止法案

○富井政章君 私ハ此法律案ニ附イテ政府ノ意見ヲ確メタイト思ヒマス、衆議院ノ速記録ニ載ッテ居リマスカハ知リマセヌガ、マダ見マセヌカラ茲デ質問致シタイト思ヒマス、此法律案ノ主意ハ全ク賛成デアリマシテ至極宜シイコトデアルト思ヒマス、併ナガラ斯カルコトヲ法律ヲ以テ極メルト云フコトハ誠ニ奇妙ナコトデアルト思ヒマス、ソレ故ニ政府ハ此法律案ニハ斷然不同意デアラウト信ジマスガ果シテサウデアルカ伺ヒタイノデアル、私ノ意見ハ今日述ベル機會デアリマセヌカラ今日ハ述べマセヌガ、政府ハ此度刑法改正案ヲ提出セラレタ、若シ此法律案ニ極メデアルヤウナコトヲ犯罪トシテ罰スル必要ガアルナラバ今度提出ニナツタ刑法ノ中ニ規定セラルベキガ當然デアルト思ヒマス、然ルニ此種類ノ犯罪ヲ罰スル規定ハナイ、サウシテ見レバ刑法改正案提出者ハ斯ノ如キ行爲ハ罪トシテ罰スベキモノデナイト認メラレタノデアラウト思ヒマス、私ハ平生政府ノ人ミカラ聞キマスルト……實ハ私モ其一人デアリマスガ、近來議員ヨリ切レ切レノ妙ナ法律案ヲ提出スルコトニナツテ困ルト云フコトヲ屢々聞キマス、然ルニ斯ウ云フ法律案ガ出ルニ當ッテハ政府ハキツパリ意見ヲ表明スルト云フコトハ屢々ナイヤウニ認メマスル、是ハ立法ノ統一上カラ考ヘテ私ハ甚ダ懸念ニ堪ヘナイノデアリマス、ソレ故ニ此法律案ノ主意ニハ決シテ反對デアリマセヌ、唯斯ルコトヲ法律ヲ以テ極メルト云フコトハ實ニ面白クナイコト、思フ、ソレ故ニ政府ハ斷然不同意デアルノカ、其邊ヲ一應質シテ置キマス

〔政府委員吉原三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(吉原三郎君) 唯今ノ御質問ニ御答ヲ致シマスルガ、唯今刑法ニ於テ之ヲ禁ズルナラバ禁ズルノガ當然デハナイカト云フコトガ一ツゴザイマシタガ、刑法ノコトハ本員即チ内務省ノ所管デゴザイマセヌカラ、是ハ其方ノ委員ヨリ御答ヲ致スコトニナラウト思ヒマス、先ヅ内務省ト致シマシテハ此未成年者ノ飲酒ヲ禁止致スコト云フコトハ諸般ノ點カラ見マシテモ強チ惡イコトトハ考ヘマセヌノデ、此案ニ反對ヲシナケレバナラヌト云フ理由ヲ見マセヌノデ、即チ此兩院ヲ通過致シテ是ガ行ハレルヤウニナレバ結構デアラウト

考ヘマス、併シ唯此取締ト云フ一點ニ附キマシテハ隨分困難ヲ感ジャウト存ジマスルガ、併シソレモ絶對ニ取締ノ行ハレヌコトハナイト考ヘマスノデ、別段本案ニ對シテ是ハ反對デアルト云フ考ハ持チマセヌノデゴザイマス、刑法ノコトニ附キマシテハ他ノ政府委員ヨリ御答致スコトニナラウト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○富井政章君 ソレデハ更ニ伺ヒマスガ、是ハ此前發布ニナリマシタ未成年者喫煙禁止法案ト同ジヤウナモノデアリマスガ、今一應政府ノ責任ヲ以テ御答ヲ願ヒタイコトハ、斯ノ如キ法律ハ果シテ實際ニ行ハレルト云フコトヲ斷言ナサイマスガ、特ニ公平ニ行ハレルコトヲ斷言ナサイマスガ、其邊ヲ伺ヒタイ、而シテ教育行政警察トカ云フモノ、力ヲ以テ此目的ヲ達スルコトハ、ドウシテモ出來ナイコトハナイト云フコトヲ斷言セラル、カ、其邊ヲ伺ヒマス

〔政府委員吉原三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(吉原三郎君) 御答ヲ致シマス、此取締ニ附キマシテハ先刻モ申シマシタ通ニ是ハ隨分困難デアルト考ヘマスノデ、其事柄タルヤ單リ外面ニ顯レル所ニ於テ行ハレルノミナラズ或ハ家族内ニ於テモ行ハレルノデゴザイマスカラ餘程困難デハゴザイマスル、併シ此喫煙禁止デゴザイマスルガ、是モ矢張同様ノヤウナコトデアリマスルガ、是マデノ統計ヲ調べテ見マシテモ相當ニ厲行ヲサレテ居リマスルノデ、唯今此調査致シタモノハ持合セマセヌデ或ハ委員會ニ於キマシテ申上ゲルコトガ出來マスカト考ヘマスルノデ、又此警察ノ取締ト云フコトニ附キマシテハ矢張何カ標準ニナルモノガゴザイマセヌト、ドウ致シテモ行ハレ難イト云フコトニナリマスルノデ、勿論是ハ教育ヲ以テ現ニ是ガ禁止ガ自然ニ行ハレテ行クト云フコトニナリマスレバ是ハ誠ニ結構ナコトデアリマスガ、一面ニ於テハ教育ニ於テ爲シ一面ニ於テハ斯様ナ取締法ヲ以テヤルト云フコトモ強チ不可ナカラウカト考ヘマス、是ダケ御答致シテ置キマス

○子爵曾我祐準君 唯今ノ政府委員ハ政府全般ヲ代表サレテ居ルノデゴザイマスガ、又ハ内務省ダケヲ代表サレテ居ルノデゴザイマスガ、先刻冒頭ニ内務省ノ側カラト申サレマシタガ、富井君ノ質問ハ政府ノ半面ニ向ッテノ質問デアルマイト思ヒマスカラ、ソレヲハッキリ……

○政府委員(吉原三郎君) 御答致シマスルガ、本員ハ此内務省ノ側ダケヲ御答致シマシタ積リデアリマス

○子爵谷干城君 唯今ノ政府委員ニ質問致シタイデスガ、内務省ノ方ハ即チ此神社杯ヲ支配サレテ居ルガ我國ノ習慣トシテ神ヘ詣デレバ神酒ヲ戴ク、是ハ老幼一向區別ハナイ、ソレデサウスレバ此神酒ヲ戴クヤウナコトモ内務省ハ取締ヲスル積デアリマスガ、ソレヲ承リタイ
○政府委員(吉原三郎君) 御答致シマスルデアリマスガ、唯今ノ此神酒ノ如キハ但書中ニ加ヘマシテ取除ニ致シマスル心得デゴザイマス
○子爵曾我祐準君 修正案ヲ御出シニナル積デアリマスガ
○政府委員(吉原三郎君) イヤ、除外例ヲ以テ吉凶禮式ノ場合ハ此限ニアラスト云フコトガゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 委員ハ議長指名デ差支アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 順德天皇御遺跡保存ニ關スル建議案、伯爵日野資秀君外二名發議

(伯爵日野資秀君演壇ニ登ル)

○議長(公爵近衛篤磨君) 提出者ガ演壇ニ登ラレマシタカラ朗讀ハ省キマス(左ノ提出文及建議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

順德天皇御遺跡保存ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治三十五年二月十四日

發議者 伯爵日野 資秀

巖谷 修

五十嵐 甚藏

贊成者 公爵二條 基弘

外七十九名

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

順德天皇御遺跡保存ニ關スル建議

謹テ惟ルニ佐渡國眞野宮ハ

順德天皇遷幸ノ舊蹟ニシテ御陵歷然トシテ存シ遺愛ノ器什皆徴スヘシトナ

ス明治七年

今上天皇陛下御靈代トシテ更ニ御劍ヲ納メ玉フ

勅旨誰カ感泣シ奉ラサラムヤ而モ奉祀以來居諸相移テ社祠頽敗深荷茫々タ

ラムトス今社殿ヲ改築シ永遠追懷ノ誠ヲ致サム事ヲ謀ルノ企アリ政府ハ宜シク相當ノ資金ヲ支出シテ之ヲ補助スヘシ

右建議ス

○伯爵日野資秀君 諸君、私ハ此順德天皇御遺跡保存ニ關スル建議案ノ發議者ノ一人デアリマスカラ聊カ之ヲ提出シマシタ理由ヲ申述ベマス、斯ノ如キ神聖ナル建議案ニ對シマシテ私ハ此說明ノ任ヲ負フト云フコトハ誠ニ私ノ光榮トスル所デアリマス、扱此建議案ハ一昨年以來ノ當院ノ宿題デアリマスカラ此事ニ附キマシテ諸君ハ業已ニ十分御承知ノコト、存シマス、特ニ昔承久ノ亂ニ當リマシテ順德天皇ガ北條氏ノタメニ無法ニモ佐渡ノ島ニ御流サレ遊バサレマシテ此蠻煙瘴霧ノ間ニ御暮シ遊バサレマシタコト二十有餘年、其上京都ニ御歸リ遊バサレタキ御心モ御達シ遊バスコト協ハセラレズシテ、遂ニ畏多クモ一天萬乘ノ尊キ御體デアリナガラ此僻遠ナル佐渡ノ島ニテ怒ヲ御吞ミ遊バサレマシテ御カクレ遊バシタノハ我國開闢以來類稀ナル悲慘極マル歷史上ノ事實ハ私ガ事新シク申スマデモナク諸君ノ業已ニ御承知ノコト、思ヒマスカラ、此事ニ附テハ詳シク述ブル必要モアリマセヌ、ソレデ佐渡ニハ既ニ御陵モゴザイマス、眞野村ト云フ所ニハ明治七年ニ今上陛下ヨリ御納ニナリマシタ所ノ御劍ヲ御靈代トシテ祭りマシタ、社ハ之ヲ眞野宮トシテ古キ器什杯ノ御遺跡モゴザイマスガ、特ニ最モ畏多クモ眞野宮ハ明治八年政府デ御造營ヲ遊バサレマシタデアリマスガ、其後段々年ヲ經ルニ從ヒマシテ追々破損ヲ生シテ來マシテ、遂ニ明治二十八年ニ佐渡ニ洪水ガ出タコトガゴザイマス、其時ニ此眞野村ト云フ所ハ諸君ノ中ニモ御承知ノ方モゴザイマセウガ至ッテ低イ所デ濕地デゴザイマス、ソレデ洪水ノタメニ御社ガ非常ナ御破損ヲ御受ニナリマシタ、ソレデ此モウ少シ斯ノ如キ水難ノ虞ノナイ高イ所ニ御社ヲ改築シタイト云フ佐渡ノ人民ノ願ナノデ明治三十一年ニハ宮内省ノ佐渡ノ御料局ノ一部分ヲ無料デ永久御貸下ニナルト云フ許可ヲ得テ居ル、又明治三十二年ニハ宮内省ヨリ殊ニ思召ヲ以テ此御宮ノ保存資金ノ中ニ若干ノ御下賜ガアツタ位デアアル、然ルニ斯ノ如キ我國歷史上類稀ナル御舊跡ヲ保存シ竝ニ今申上ゲマシタ類破ニ及ンデ居ル御宮ヲ改築スルコトニ附テノ費用等ハ到底佐渡ノ如キ孤島ノ臣民ノ負擔シ得ベキ所ニアラザルノミナラズ、實ニ斯ノ如キ國家ノ大古跡ヲ永ク保存致シテ、上ハ順德天皇ノ尊靈ヲ慰メ奉リ、下ハ國民全般ノ忠愛心ヲ奮起セシムルト云フコトハ當ニ國家ノ爲スベキコトナリト私共ハ深ク信ジテ居ルデアリマス、是レ則チ本建議案ヲ提出致シマシテ

政府ノ國庫補助ヲ仰ギタイト云フ精神デゴザイマス、此事ニ附イテハ滿堂ノ忠愛ナル諸君ハ希ハクハ御異存ノアラウ筈ハナカラウト存ジマス、ソレデ此建議案ハ一昨年ノ衆議院カラモ提出ニナリマシテ其時直ニ通過シテ居ル、ソレカラ又當貴族院デハ一昨年提出ニナリマシタガ其時ニハ篤ト實際ノ事實ヲ取調ベタ上デ議決シタ方ガ宜カラウト云フ説デアリマシテ、即チ其時ノ特別委員ノ一人タル五十嵐甚藏氏ガ一個人ノ資格ヲ以テ態、一昨年佐渡ヘ渡ラレマシテ、其實際ノ事情ヲ取調ベテ其調査書ヲ私ハ此處ニ持ッテ居リマス、ソレカラ又昨年モ當貴族院ヘ此建議案ハ提出ニナリマシタガ、諸君モ御承知ノ通、昨年ハ停會等ノタメニ開會ノ日數ガ少ウゴザイマシタ、タメニ遂ニ議決ノ運ビニ至ラナカッタノハ誠ニ遺憾ナ次第デアリマス、ソレデ唯今申述ベマシタ五十嵐氏ノ實際調査書ヲ諸君ノ御參考ノタメニ短イモノデゴザイマス、此處デ讀上ゲマスデゴザイマス

順德天皇御遺跡保存ニ附實地調査書

昨年六月佐渡ニ渡航シ

順德天皇御遺跡保存ニ附實地調査セル大要左ノ如シ

眞野宮

眞野宮ノ社殿ハ構造狹小ニシテ本殿二間半ノ二間拜殿五間ノ四間ニ過ギズ加フルニ建築ノ不完全ナル柱梁兩ツナガラ傾キ戸壁僅カニ支フ剩ヘ柱ノ如キハ古材ヲ用ヒ往々「ウメ木」ノ痕アリ壁ハ悉ク荒壁ニシテ戸モ亦古障子ヲ用ヒ且一間毎ニ別々ノ構造ニシテ中ニハ骨ノ折レ去リタルモアリ甚シキハ障子ニ代フルニ「ハメ板」ヲ以テセルアリ一見殆ント廢寺ノ如シ殊ニ其ノ社掌ノ私宅ト棟屋ヲ同フスルハ恰モ寺院ノ御堂ニ於ケル庫裏ノ如シ社殿ト社掌ノ私宅トハ僅カニ三間半ノ廊下ニ板戸一枚ヲ以テ之レヲ隔ルノミ實ニ恐懼措ク所ヲ知ラズ就中最モ恐レ多キハ神殿ノ屋根破レテ時々神職應急ノ小修繕ヲナセドモ雨露ノ漏ル是ナリ屋宇ノ朽損ニ因ルト雖抑亦初ヨリ構造ノ不完全ナルニ基ゼンバアラズ且ツ神壇ノ階壇亦峻狹ニシテ祭祠ノ際神職ノ昇降自由ナラズ其他概シテ粗末ヲ極メ且ツ汚穢甚シトナス

又社殿ノ現在地ハ低濕ニシテ出水毎ニ境内ニ浸水シ前年洪水ニ際シ社殿流出ノ恐レアリ村民ノ盡力ニ依リ僅カニ之ヲ防禦スルコトヲ得タリ而シテ柵ノ如キハ粗造甚シク殊ニ一部ハ切りタル竹枝ヲ結ビテ環ラシ門ハ舊眞輪寺ノ物ヲ其儘建テアリ鳥居亦腐朽シテ將サニ倒レントス

御遺跡

堂所黒木御所跡、泉村御所跡其他ノ御遺跡共ニ廢頽シテ荒涼甚シ若シ此ノ如クニシテ永ク抛置セバ或ハ恐ル舊跡ノ終ニ湮滅センコトヲ

如上ノ狀況ナルヲ以テ眞野宮社殿ノ改築並ニ御遺跡ノ保存ヲ計リ尊靈ヲ慰安シ奉リ追遠懷舊ノ誠ヲ致サンコト洵ニ今日ノ急務ナリト信ズ

明治三十四年 月 日

貴族院議員五十嵐 甚藏

右讀上ゲマシタヤウナ實際ノ有様デアリマスカラ實ニ畏多イ次第ト存ジマス、且ツ又私自身モ一昨々年、越後ヘ旅行致シマシタトキニ佐渡ヘモ渡航致シマシテ、此眞野宮始其他ノ古跡ヲ拜觀致シマシタガ、唯今讀ミマシタ五十嵐氏ノ調査ノ事實ヲ實際認メマシテ誠ニ畏多イコト、考ヘタノデゴザイマス、ソコデ即チ此事實ヲ滿堂ノ忠愛ナル諸君ニ御訴申上ゲマシテ御贊成ヲ得テ本建議案ノ速ニ可決アラントコトヲ希望スル次第デアリマス、何卒御贊成ヲ願ヒマス

○子爵谷千城君 是ハ一昨年來カラノ宿題ニナッテ居リマシテ、一度委員ニモ付託ニナリマシテ尙ホ調ベルト云フコトデアッテ私杯モ調ベマシタガ、如何ニモドウカナサレナケレバナルマイト考ヘルノデアリマス、ソレデ能ク承ッテ見マスルト、其金ト云フモノハ夥シイコトカト云フト決シテサウデナイ、僅ニ二三萬圓グラ非デ相當ニ社ヲ保ツコトガ出來ルト云フコトデアレバ是ハ政府ノ義務トシテ是ダケノ事ヲ施行スルハ當然ノコトデアラウト考ヘマス、ソレ故ニ即決ヲ以テ政府ヘ送達ニ相成ルヤウニナリタイト考ヘマス、贊成ノ意ヲ表シマス

〔贊成〕ト呼フ者多シ

○議長(公尊近衛篤磨君) 本案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

總員 起立

○議長(公尊近衛篤磨君) 滿場一致ト認メマス、直ニ進達ヲ致シマス、議事ハ是ニテ終リマシタ、先刻來御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道致シマス

(太田書記官朗讀)

衆議院議員選舉人名簿ニ關スル法律案特別委員

伯爵坊城 俊章君

子爵山内 豐誠君

子爵高野 宗順君

男爵鍋島 幹君

柴原 和君

男爵杉溪 言長君

小幡篤次郎君

米谷 半平君

八坂 甚八君

沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ關スル法律案特別委員

伯爵上杉 茂憲君 伯爵萬里小路通房君 子爵唐橋 在正君

男爵楫取 素彦君 男爵石黒 忠憲君 男爵中御門 經隆君

湯地 定基君 海江田 平治君 岡田 太平治君

民法中改正法律案特別委員

伯爵徳川 達孝君 子爵本莊 壽巨君 子爵酒井 忠亮君

小松原英太郎君 男爵安藤 直行君 馬屋原 彰君

奥山 政敬君 富井 政章君 佐藤 國彦君

未成年者飲酒禁止法案特別委員

伯爵廣澤 金次郎君 子爵竹内 惟忠君 子爵山井 兼文君

男爵中島 錫胤君 男爵北垣 國道君 男爵岩村 高俊君

男爵南岩倉 具威君 關 義臣君 中西 光三郎君

○議長(公爵近衛篤磨君) 明後日ノ日程ヲ御報道シマス

(太田書記官長朗讀)

午前十時開議

第一 刑法改正案(政府提出)

第二讀會

○議長(公爵近衛篤磨君) 今日ハ散會

午前十一時三十九分散會